

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年3月3日

事業所名 放課後等デイサービスはなはな

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		遠すぎず近すぎずワンフロアで見ることができます。	曜日、時間帯、活動内容によっては、手狭に感じている。活動内容や過ごし方に応じた使用方法をその都度検討します。
	2	職員の配置数は適切である	○		児童発達支援管理責任者を配置し、利用人数に対して基準人員常勤2名とプラス常勤1名と非常勤1名を配置しています。	送迎で職員の出入りが多い時もあります。、子どもの人数が多い時間帯は体制を調整します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所内には段差がなく、車イスやバギー等そのまま入ることが出来ます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議や子ども達がない空いた時間に支援方法の見直しや改善等の共有をしています。	気になったことは、スタッフ全員で話をして共有を行います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		スタッフ全員で評価表を確認し、把握して業務改善に繋がっています	アンケート内で、行っている項目について、親に認知が行き届いていないことを把握したので、すべての親に認知して頂けるように工夫していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人としての第三者委員はありますが、定期的な評価は受けていません。今度検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修に参加と内部研修をそれぞれ行いました。しかし、全てのスタッフが参加することは出来ていません。	入社や異動で勤務歴2年未満のスタッフもいるため、基礎研修にも参加を増やしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用前に面談にてアセスメントの聞き取りをして、情報を基に子どもの状況・課題・ニーズなどを把握し支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要な児童にはツールを利用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ全員で行っています。	より活動内容が本人に伝わるような提示の仕方も立案時に検討します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○		個々のニーズに合わせています。子どもの主体性を大切にしており、保護者の方と相談して、あえて固定化している子どももいますので、『はい!』とは言いがたいです。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇等は、平日よりも利用時間が長いので、長期休暇ならではのものを設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		子ども達それぞれに合わせて作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の体制等をホワイトボードへ掲示し、スタッフ間で共有しています。	安全性を確保した体制を今後も心がけます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日は送迎等で出来ないことが多いが、合間の時間や翌日に振り返りや気づいた点の話をしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の内容を記録し、検証・改善につなげています。	安全性を確保した体制を今後も心がけます。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを行い、計画の見直しをしています。	状況に応じた支援方法・内容の計画変更に努めます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○		はなはなでの生活や遊びを通じて基本的動作を習得しながら、創作活動や余暇活動を個人または集団で行っています。	
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には参加しています。	相談支援事業所の方と連携を取り、現状の把握に努めます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		年間計画や行事予定等の情報共有を行っている。また下校時刻の確認や連絡調整も行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	22年度は医療的ケアが必要な子はいませんでした。	以前、医療的ケアが必要な子どもの受け入れをしていた経験があるので、今後受け入れをする際には、その経験を活かします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	22年度は該当者はいませんでした。	今後、対象となる子がいた際には、努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		他法人へ行かれた児童に関しては相談支援事業所を通じて情報を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	現在は行っていません。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	コロナ禍のため、なかなか機会を持てませんでした。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		積極的に参加しています。	2つの部会に参加し、その一つは副会長として役割を担っています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時にその日の様子等をお伝えしています。ご家庭によっては、写真をLINEで送ってお伝えしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	行っていません。また、間接的に相談支援事業所に情報を提供したりして、支援の情報の提供を行っています。	今後、検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。	変更等があった場合には連絡・報告を行うことを留意します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ご相談があった時には、対応を行っています。	送迎時や連絡帳等を通じて日々のやり取りの中から、ニーズの掘り起こしを行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	この1年はコロナ禍で行なえていません。	以前は、親睦会にて、親同士の交流や連携を取り、セミナーでは外部の先生にお越しいただき、勉強会をしていました。23年度は、親睦会を開催する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合は迅速に対応します。また案件によっては他機関へ相談して対応します。	22年度は該当した案件はありませんでした。あった際には、対応致します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年間4号前後、通信を発行し、活動報告、行事予定等を発信しています。フォトを毎月発行しています。また、ホームページ上のSNSを活用し、発信も行っています。	必要に応じて、説明や報告又は資料を用いて、ご家庭や本人が分かりやすいような発信を心がけます。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報には十分に注意し管理しています。	改善するような出来事は現状ではないが、引き続き留意します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳、LINE、FAX等を使ってしています。	意思の疎通については様々なツールや非言語コミュニケーション等の方法を用いての配慮を引き続き取り組みます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		法人として取り組んでいます。	今後も継続して実施し、機会を増やせるよう企画検討を進めます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルを事務所に掲示及びスタッフに周知し、確認を行いました。また保護者にも説明配布を行っています。	今後も定期的な避難訓練を長期休暇等を利用し取り入れていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	長期休みごとに避難訓練の日を設けています。毎回テーマごとに子ども達と勉強会、訓練は継続して行っています。	毎回、地震・火事などテーマごとに行っています。なかなか全員が訓練することが難しく、保護者の中には訓練していることを知らない方もいます。周知は行っていますがより認知されるように周知の仕方を検討します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待や権利擁護の研修を法人として行っています。	改善すべき点は現状ありませんが、研修への参加機会を増やせるような体制を目指します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体拘束をしていません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者に確認し、今は食物アレルギーのある子どもがいません。	放課後等デイの児童には該当する児童はいませんが、児発には該当幼児がいてるので、来所時に昼食やおやつの時間に席の間隔を開けたりアレルギー除去のものを食べるなどの対応を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	大きなヒヤリハットはありませんでしたが、その都度、共有し、再発防止に繋げられるよう取り組んでいます。	